



①工業用ミシンを操作して縫製作業について学ぶ総合実務科手工芸コースの訓練生 ②ポケットを縫い付けた部分の柄がずれないように、生地を裁断する前に行う「柄合わせ」の作業

**宮城障害者職業能力開発校**

仙台市青葉区台原 5-15-1  
TEL 022-233-3124  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/miyashou/>



宮城障害者職業能力開発校は、障害のある方に対し、就業による自立と社会の発展に貢献する技能者の養成を目的に設立された、国立県営の職業能力開発校です。「総合実務科」は、「手工芸コース」「物流ワークコース」「販売管理コース」の3つの専門コースに分かれ、1年間の訓練や実習を通じて各職種に求められる技能と知識の習得を目指します。手工芸コースでは、紙製の箱・容器の製作や工業用ミシンを使った縫製作業など、ものづくりに関連する訓練を行います。また、物流ワークコースでは、ホームセンターや物流センターでの業務を想定し、運搬や仕分け、荷づくり、清掃作業などに関する訓練を行います。販売管理コースでは、販売・接客・清掃・商品の取り扱いなどに関する訓練を行います。

同訓練科では、入校後に各コースの基本作業を1週間ずつ行う「導入訓練」を実施します。導入訓練により各訓練生の適性を確認した後、本人の希望を含め総合的に判断し、専門コースを決定します。どのコースでも、一般的なビジネスマナーやコミュニケーションの取り方、集中力を維持するトレーニングなど、職業人として必要な基本的な能力も身に付けます。就職については、会社見学をはじめ、1〜2週間程度の職場実習を通じて受け入れ企業と訓練生とのマッチングを行うなどのサポート体制を整えています。総合実務科のほかにも同校では、1年課程の「Webデザイン科」「OAビジネス科」や、6カ月課程の「パソコン基礎科」「地域開発科」5カ月課程の「オフィス実務科」などがあります。

**幅広い実務作業ができる技能者を養成  
就業による自立を後押し**

**3週間の導入訓練で適性を確認  
丁寧な支援体制で就業ニーズに応える**

# 宮城障害者職業能力開発校



**自動車整備科修了 (2014年)**

すずき かずや  
**鈴木 和也さん**  
宮城トヨタ自動車株式会社 気仙沼店 (気仙沼市)

鈴木和也さんが、気仙沼沼洋高等学校で学んでいた2011年の3月11日、巨大な津波が校舎を襲った。自宅がある気仙沼市鹿折(ししおり)地区も、津波と火災で大きな被害を受けた。航空機の整備士になる夢を抱いていた鈴木さんだったが、震災を経験したことで、自動車整備士として地元に残り「故郷に貢献したい」と思うようになったという。

気仙沼高等技術専門校で2年間、自動車整備の知識と技術を学んだ鈴木さんは、宮城トヨタ自動車株式会社に就職。地元にある気仙沼店で自動車整備士デビューを果たした。

高等技術専門校での実職しながらの訓練が、「実際の仕事にとっても役に立った」と話す。そして、お客様からの「ありがとう」の言葉が、「地元の力になれた」という達成感につながっているという。

入社6年目を迎え、鈴木さんは「さらにスキルを磨き、後輩を引っ張っていけるようなエンジニアを目指します」と力強く語った。

宮城トヨタ自動車株式会社 気仙沼店  
気仙沼市本郷 10-9  
TEL 0226-22-0528  
<https://www.miyagi-toyota.co.jp/>



# 気仙沼高等技術専門校

**確かな技術とサービスの心得を指導  
自動車整備のプロを育成**

**自動車販売店や整備工場のほかにも  
様々な職種で修了生が活躍**



①自動車の点検整備について学ぶ自動車整備科の訓練生 ②外部診断機を使って自動車の故障診断を行う訓練生

「自動車整備科」では、機械・検査機器の取り扱いや整備作業(受人検査・分解・点検・組立・調整・完成検査・故障診断など)に必要な知識技能を習得するための訓練を、2年間かけて行います。自動車の構造や機能の基本から、電子制御システムまで、自動車について幅広く学びながら、「二級自動車整備士」の資格取得を目指します。自動車整備の仕事は、チームワークが求められるため、あいさつや訓練中の声かけ、明るく作業に臨むための心構えの徹底などについても指導しています。最近は整備士がお客様への作業説明を行うなど接客対応するケースが増えたことから、接遇に必要なマナーや話法に関する訓練も時間をかけて行います。このほか、整備士に求められるガス溶接やアーク溶接など、関連する技能講習を実施しています。

同訓練科では、より実践に近い実技訓練を通して、様々な顧客ニーズに応えられるプロの整備士の育成を目指しています。今年度初めて開催された「みやぎ学生自動車整備技能コンクール」では、同校の訓練生が最高賞を獲得しました。自動車整備士は、乗用車やバス・トラックのほか、建設用の重機や農業機械などの整備にも必要です。そのため、同訓練科の修了生は、自動車販売店や整備工場のほか、建設機械・農業機械のリース会社など様々な就職先で活躍しています。自動車整備科のほかにも同校では、1年課程のオフィスビジネス科と、6カ月課程の溶接科を設置しています。震災復興が進む地元産業界のニーズに応えるスペシャリストを多く輩出できるように、日々の指導にあたっています。

**宮城県立  
気仙沼高等技術専門校**

気仙沼市大崎山 1-174  
TEL 0226-22-7068  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-kougi/>



**総合実務科 手工芸コース修了 (2019年)**

さとう だい き  
**佐藤 大樹さん**  
トヨタ東北株式会社 (登米市)

「ものづくりが大好きで、中学生の頃に木製のベンチを作ったこともありました」。工場働くことを夢見ていた佐藤大樹さんは、金成支援学校(栗原市)を卒業後に宮城障害者職業能力開発校に入校した。

総合実務科の手工芸コースで、紙箱の製作や縫製作業を体験。「最初はとて苦勞しましたが、製品が完成した時はとてもうれしかったです」と振り返った。

修了後はトヨタ東北株式会社に就職し、自動車部品の品質検査に打ち込んでいる。溶接工程を終えたサンプルが届くと、佐藤さんはプラズマカッターで切断し、断面を調べて溶接の強度を検査する。「学校で学んだ職場の人とのコミュニケーションの取り方がとても役に立っています」と笑顔を見せた。

中学生の頃からの夢を叶えた佐藤さんは、「上司や先輩から、『品質検査のことは大樹に任せる』と信頼されるような存在になりたいです」と新たな夢を語った。

トヨタ東北株式会社  
登米市迫町北方東富永 1  
TEL 0220-21-5201  
<https://www.tiw.co.jp/tohoku/>

